

「日本の人々の公衆トイレでの手洗い等の調査」結果公表

高まる衛生意識と非接触の自動化器具への要望

～新型コロナウイルス感染症流行の前・後で、手洗いに対する意識に変化が見られる～

TOTO株式会社(本社:福岡県北九州市、社長:清田 徳明)は、新型コロナウイルス感染症(以下、コロナウイルス)流行の前・後の「手洗い」の行動変化と公衆トイレでの手洗いの要望を確認するため、「日本の人々の公衆トイレでの手洗い等の調査」を実施しましたので、調査結果をお知らせします。

TOTOは、きれいさと快適さを実現する商品の普及を推進し安心して利用できる衛生的なトイレ空間を提供します。

<調査背景>

コロナウイルスの流行により、今後、人々の生活様式や意識に変化が見られることが予想され、「公衆トイレにおける新型コロナウイルス感染予防」、「公衆トイレにおける手洗い励行」、「公衆の場での非接触化」への関心はますます高まるものと推測できます。より望ましい手洗い行為のために、手洗い場に求められていることを調査し、今後のトイレ整備に生かしていきたいと考えています。

<主な調査結果>

■手洗い意識・方法の変化

コロナ前は公衆トイレで「しっかり手を洗っていた」と答えた人の割合が 55%であったのに対し、コロナ後は 81%まで上昇し、手洗いに対する意識が高まっていることがわかりました。

■公衆トイレの混雑と「密」の回避

コロナ前はトイレの混雑が「とても気になった」「気になった」と回答した人の割合が 45%であったのに対し、コロナ後は 69%まで上昇し、公衆トイレにおいて、混雑が気になり混雑を避けたい人が増加していることがわかりました。

■求められる非接触の自動水栓と自動水石けん供給栓

公衆トイレに望ましい器具については自動水栓、自動水石けん供給栓を望む人がともに約 90%と高い割合を示しました。自動水栓、自動水石けん供給栓のような非接触で使用できる器具が好まれていることがわかりました。

調査結果から、コロナウイルスの流行により手洗いの意識が高まり、公衆トイレにおいて非接触で使用できる器具が望まれていることが見受けられました。より衛生的に手洗いができ、混雑を避けながら使用できる公衆トイレの環境整備が望まれています。

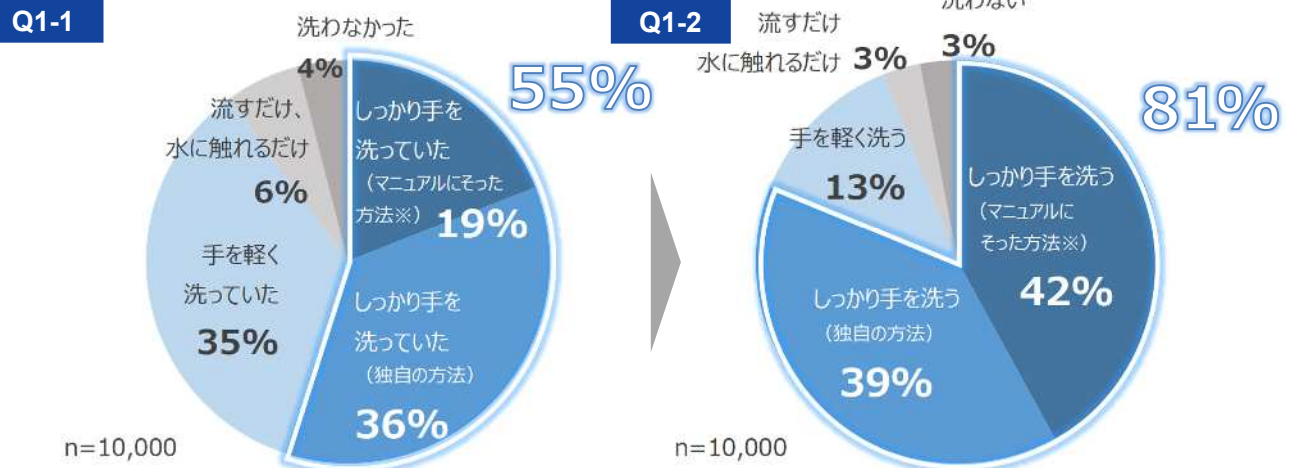
【調査概要】

名称	「日本の人々の公衆トイレでの手洗い等の調査」 (調査主体:TOTO(株))
実施時期	2020年5月
調査方法	インターネット調査
調査人数	ステップ①(Q1~2) 国内在住日本人 20~60歳代の男女合計 10,000名 ステップ②(Q3~6) 「コロナウイルス流行後、公衆トイレで手を洗う人」の中から、 国内在住日本人 20~60歳代男女計 2,000名(各年代 400名、男女 200名ずつ)抽出

「手洗い」に対する意識（公衆トイレ）

Q1-1 あなたは、外出中に公衆トイレで排泄後、どの程度手を洗っていましたか。（コロナウイルスが広まる前）

Q1-2 あなたは、外出中に公衆トイレで排泄後、どの程度手を洗いますか。（コロナウイルス流行後の現在）



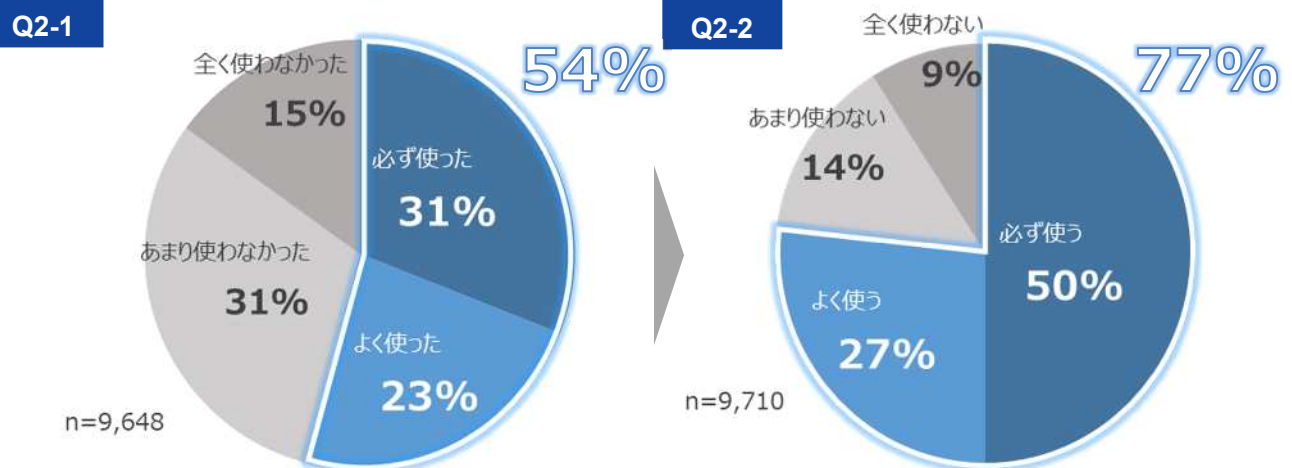
※政府・官公庁・メーカーなどから出ている手洗いに関するガイド

（厚生労働省が提唱する、新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本内の「正しい手の洗い方」等）

外出先の公衆トイレにおいて排泄後、「しっかり手を洗っていた／洗う（マニュアルにそった方法、独自の方法）」と回答した人の割合が 55%→81%と 26 ポイント上昇しました。しっかりと手洗いを行っている人が大きく増加していることが見て取れます。

Q2-1 (Q1-1にて、「手を洗っていた」と回答した方へ質問します) 外出中に公衆トイレで排泄後に手を洗うとき、あなたは石けんを使いましたか。(コロナウイルスが広まる前)

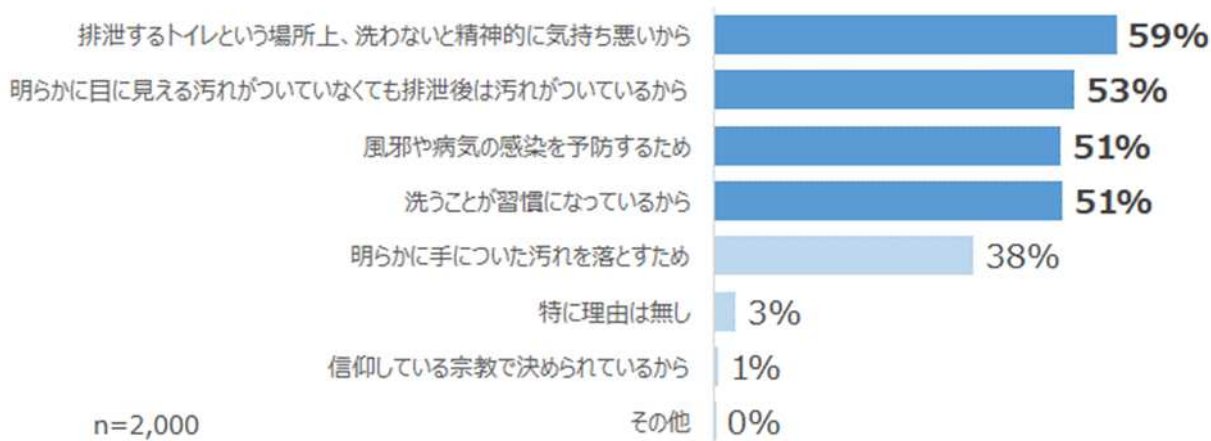
Q2-2 (Q1-2にて、「手を洗う」と回答した方へ質問します) 外出中に公衆トイレで排泄後に手を洗うとき、あなたは石けんを使いますか。(コロナウイルス流行後の現在)



公衆トイレにおいて排泄後、「石けんを必ず使っていた／いる」「石けんをよく使っていた／いる」と回答した人の割合が54%→77%と20ポイント以上上昇しました。外出先において、石けんを使って手を洗っている人の割合が大きく増加していることが見て取れます。

Q3

コロナウイルス流行後、あなたが排泄後に手を洗う理由として、以下の中からあてはまるものをすべてお答えください。(複数回答可)



トイレで排泄後に手を洗う理由を確認したところ、「洗わないと精神的に気持ち悪いから」が59%ともっとも多い回答でした。続いて、「排泄後は汚れがついているから」、「風邪や病気の感染を予防するため」、「洗うことが習慣になっているから」の順に回答が多く、それぞれ50%以上を占めました。

「3密」に対する意識

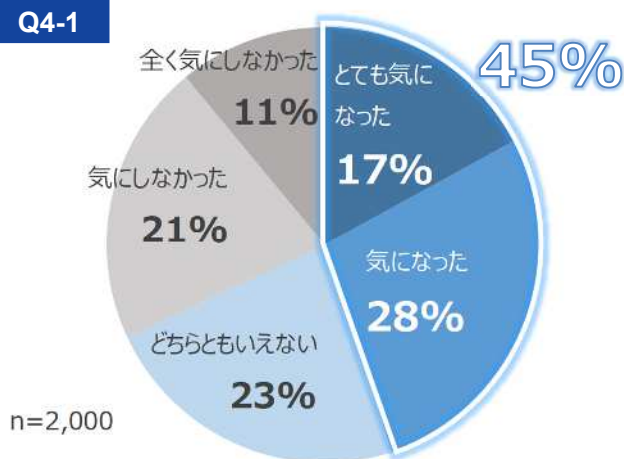
Q4-1

新型コロナウイルス感染症の予防では「密」を避けることが推奨されています。あなたは、公衆トイレを使用する際に、トイレの中がどのくらい混んでいるかをどの程度気になりましたか。(コロナウイルスが広まる前)

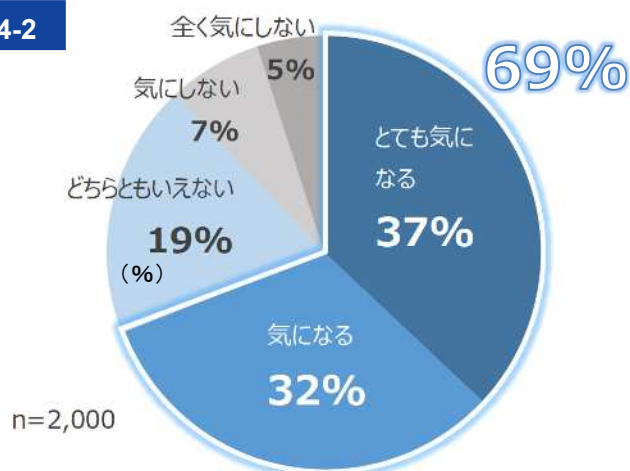
Q4-2

あなたは、公衆トイレを使用する際に、トイレの中がどのくらい混んでいるかをどの程度気になりますか。(コロナウイルス流行後の現在)

Q4-1



Q4-2



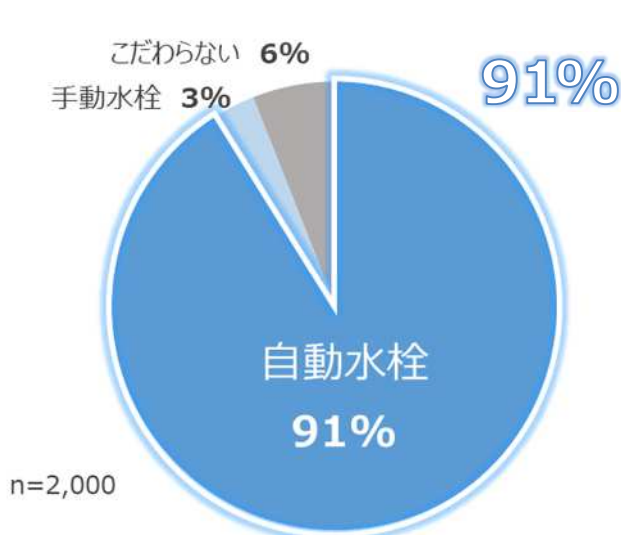
トイレの混雑が「とても気になった／なる」「気になった／なる」と回答した人の割合が 45%→69%と 20ポイント以上増えました。「気にしなかった／しない」「全く気にしなかった／しない」と回答した人の割合は 32%→12%と大きく減少し、公衆トイレにおいて、混雑が気になる人が増加していることが見て取れます。

「非接触」に対する意識

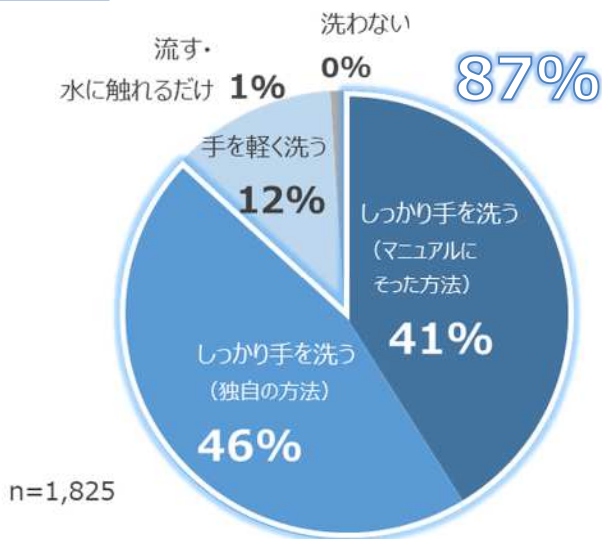
Q5-1 日本の公衆トイレの設備についてお尋ねします。
 今後、あなたが手を洗う時に、レバーやハンドルをさわらなくても水やお湯が出る自動水栓と手で操作する手動水栓とどちらを使いたいですか。

(Q5-1にて、「自動水栓を使いたい」と回答した方へ質問します)
Q5-2 日本の公衆トイレの設備についてお尋ねします。
 今後、あなたが手を洗う時に、自動水栓だった場合どの程度手を洗いますか。

Q5-1



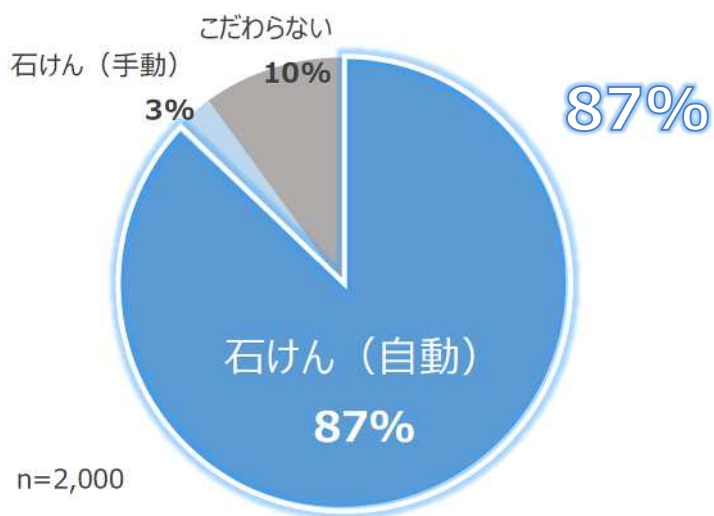
Q5-2



「自動水栓があれば使いたい」と回答した人の割合が 91%と非常に高く、公衆トイレにおいて、自動水栓が強く求められていることが見受けられました。また、自動水栓が備え付けてある場合、「しっかり手を洗う(マニュアルにそった方法で/独自の方法で)」と回答した人は 87%にのぼりました。

Q6

日本の公衆トイレの設備についてお尋ねします。
今後、あなたが石けんを使って手を洗おうと思ったとき、触らなくても使える石けん(自動)か、触らなければ使えない石けん(手動)か、どちらを使用したいですか。



「触らなくても使える石けん(自動)を使用したい」と回答した人の割合が87%と非常に高いことがわかりました。公衆トイレにおいて、自動水栓同様、自動水石けん供給栓「オートソープディスペンサー」も強く求められていることが見受けられました。

安心して利用できる衛生的なトイレ空間づくりへ、“非接触”商品の使用推奨について

現在、国からの「新しい生活様式」の実践例が示され、十分な「手洗い」などが推奨されています。

TOTOは自動＝“非接触”の特徴を生かした商品群の展開を継続的に行い、安心して利用できる衛生的なトイレ空間づくりにより、快適な生活を送っていただくための提案を行っています。

トイレ・洗面所といった水まわり空間において、非接触で使用出来る自動洗浄小便器をはじめ、オート開閉・オート洗浄機能付きのウォシュレット一体形便器、自動水栓「アクアオート」、自動水石けん供給栓「オートソープディスペンサー」の使用を推奨します。



- (左上) ウォシュレット一体形便器の「オート開閉」機能
- (中上) ウォシュレット一体形便器の「オート洗浄」機能
- (左下) 自動水栓「アクアオート」
- (中下) 自動水石けん供給栓「オートソープディスペンサー」
- (右) 自動水栓「アクアオート」空間イメージ

TOTOグローバル環境ビジョン

水と地球の、あしたのために。

私たちTOTOグループは、水まわりから環境に貢献するために、「グローバル環境ビジョン」を掲げ、節水や省エネなどさまざまな取り組みを続けています。環境にやさしいものづくりを行い、きれいで快適な暮らしを世界に届け、人とのつながりを大切に活動してまいります。水と地球の、あしたのために。これからも、持続可能な社会を目指して、TOTOグループ全員のかで、実現していきます。

[URL] <https://jp.toto.com/company/csr/vision/index.htm>

